

もりれん情報



三重県森林組合連合会

〒514-0003

三重県津市桜橋 1 丁目 1 0 4 番地

TEL : 059-227-7355

<https://mie-moriren.or.jp/>

第75回通常総会開催



令和8年6月29日（月）午後1時30分より、プラザ洞津3階孔雀の間において、令和7年度の通常総会を正会員11名（うち1名書面議決）の出席により開催しました。

JForest 森林組合綱領を唱和した後、開会の挨拶で森代表理事会長は、令和7年度の事業活動について、森林組合の無い北勢地域において「森林経営管理制度」を進めるための市町職員を支援する受託業務が3市町に広がるとともに、譲与税関連の森林調査事業等が大幅に増加したことについて述べました。また、電力会社からの配電線下伐採業務が、契約方式の簡素化もあって昨年度の1.5倍になったほか、保安林事業等の県発注事業についても昨年度に比べて増加し、森林整備事業の取扱高だけでなく、全体の損益も計画を大きく上回り、事業利益で3期ぶりの黒字計上ができたことを報告しました。

また来賓として、三重県農林水産部 枡屋 典子部長をはじめ、三重森林管理署長代理 前田 浩二次長、全国森林組合連合会 富山 洋代表理事専務、農林中央金庫名古屋支店長代理 飯塚 貴士次長よりご祝辞をいただくとともに、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター津水源林整備事務所北村 智也所長にもご臨席いただきました。

なお、議事については坪井三重くまの森林組合代表理事組合長が議長に選出され、提出された議案はすべて原案通り可決承認されました。

トップセミナーの開催

通常総会に引き続き、同日午後 3 時 30 分から、全国森林組合連合会より講師の富山洋氏をお迎えしてトップセミナーを開催し「森林組合系統を取り巻く情勢」と題して、約 1 時間のご講演をいただきました。

講演では、SWOT 分析を用いて森林組合系統の内部環境（強み・弱み）と外部環境（機会・脅威）の 4 つの要素を定義しながら、現況と今後についてお話しいただきました。

まず、具体的な強み（Strengths）として、地域密着型の組織基盤や組合員・森林所有者とのつながり、系統ネットワークによるスケールメリットや国産原木供給量 4 割のシェア率が挙げられました。次に弱み（Weaknesses）として、人材確保・育成の困難さ、組合員数の減少、材価の低迷、不適正事案の増加などが指摘されました。

続いて脅威（Threats）として、林野関係予算の減少に伴う補助金・公的支援の縮小、新設住宅着工件数の減少、石油化学製品の高騰や納期遅延、さらに山林火災や頻発する豪雨による自然災害などが挙げられ、また一方で機会（Opportunities）として、脱炭素・サステナビリティ市場の本格化や、国産材利用に前向きな企業の増加が挙げられました。

輸入材や新建材の高騰を背景とした木造回帰の動きに加え、国産材の持つ「固定炭素価値（LCA）」を強みとすることで、建築市場におけるシェア拡大が見込まれるといった明るい兆しについても言及され、俯瞰的視点から大変わかりやすくお話しいただきました。

講演後には、組合員の高齢化や不在村による総代不足の問題、J クレジット導入を検討している組合からの質問が複数寄せられ、時間いっぱいまでご回答いただきました。



富山 洋 講師

森林組合新人研修の開催

令和8年5月19日（火）、津市桜橋の三重県教育文化センターにて、森林組合新人研修を開催しました。本研修は、森林組合職員としての基本的な知識と、社会人としての心構えの習得、また県内の新人職員同士の繋がりを深めることを目的として実施したものです。本年度は県森連を含め、県内9組合、計18名が参加しました。

研修内容

1. 森林組合系統組織について
2. 三重県の森林・林業・木材産業の現状について
3. 三重県の森林・林業施策について
4. 社会人として働く心構えについて
5. 社会人に必要な基本的な人間関係能力について
6. ふりかえり（グループワーク）



「社会人に必要な基本的な人間関係能力について」の講義では、傾聴の大切さを知るためのグループワークを行いました。第一段階では、リアクションが一切ない状態で会話を体験し、その後第二段階では、リアクション豊かに会話を行いました。この対比を通じ、会話をする際の聞き手の反応によって相手に与える印象が全く違うことを実感する機会となりました。

そして研修の最後には、本研修を通して学んだこと・気づいたこと、今後の行動目標をまとめてグループ内で発表を行いました。各グループ内で研修内容を振り返ることで、新たな気づきを得るとともに、他者の意見から自分の行動目標をさらに深堀する姿も見て取れました。

当連合会としましては、今後も各階層別の研修会を開催し、会員の皆様のお役に立つ知識等を提供して参りますので、積極的なご参加をよろしくお願いします。

おしらせのページ

🌲 災害に備える森林保険、林野火災が全国的に発生しています 🌲

昨年度より、全国的に大規模な林野火災が発生しており、森林保険制度を活用して損害を填補する事例も増加しています。

突然の災害から所有されている山林を守るためにも、森林保険のご加入を検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ご加入の相談、保険料の試算などは、お近くの森林組合または三重県森林組合連合会へお問い合わせください。

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター

林野火災と森林保険

林野火災は、降水量が少なく空気が乾燥し、風の強い日が多くなる冬から春(1月～5月)にかけて発生しやすい傾向があります



林野火災の月別発生件数(令和2年～令和6年の平均)(※)



林野火災の様子(※)
上:岩手県大船渡市
右:岡山県岡山市

林野火災の特徴(※)

林野火災は、ひとたび発生すると早期に延焼拡大することがあります。また、消火のための消防隊の立入りが必要であることや消火用水の確保が難しいこと、広範囲の消火が必要となることもあり、他の火災に比べて鎮火までに時間がかかり、多くの人員を消火活動に必要とする場合があります。

(※)出典:消防庁ウェブサイト(<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/rinyakasai/sonae.html>)

令和7(2025)年2～3月に発生した主な林野火災と森林保険の対応状況

森林保険センターでは、被災森林の損害調査と保険金のお支払いを迅速に進めています

岩手県大船渡市

- 令和7(2025)年2月19日・26日に覚知
- 被害面積は約3,370haに及び、昭和39(1964)年以降で国内最大規模の林野火災
- 被災地における森林保険加入面積:約165ha
- 対応状況:令和8(2026)年5月までに保険金お支払いを完了



愛媛県今治市

- 令和7(2025)年3月23日に覚知
- 約482haの森林が焼損
- 被災地における森林保険加入面積:約0.16ha
- 対応状況:令和7(2025)年8月までに保険金お支払いを完了



宮崎県宮崎市

- 令和7(2025)年3月25日に覚知
- 約19haの森林が被害
- 被災地における森林保険加入面積:約5ha
- 対応状況:令和7(2025)年7月までに保険金お支払いを完了



森林保険では、林野火災による森林の被害に備えることができます！

保険金のお支払いの対象となる災害



森林保険は、被保険者である森林所有者の経済的損失を補てんすることで、林業の再生産が阻害されることを防止するとともに、林業経営の安定や森林の多面的機能の発揮に大きな役割を果たしています



安全装備品の購入助成があります

農林中央金庫は、令和8年度も林業用安全装備品購入費用の助成を行っております。

- ① 助成対象団体:労働安全衛生に取り組む森林組合及び連合会
- ② 助成対象備品:一定の防護機能を有する安全装備
熱中症防止のための空調服、防虫・防獣用品
研修資材(ガイドレーザー)
- ③ 助成率:約30%
- ④ 募集期間:下期募集は9月1日～9月30日まで



施業関連資材助成事業について

令和7年度下期から、新たに施業関連資材購入費用の助成を行っております。

本事業は、他の補助事業による補助を受けていない再造林推進資材および主伐・間伐資材の購入費用にかかる費用助成を行い、森林組合系統運動の全国目標値達成をサポートします。募集は年2回あり、令和9年度まで行われる予定となっております。

本年下期の募集もご案内いたしますので、ご利用いただければ幸いです。

- ① 助成対象団体:森林組合及び連合会
- ② 助成対象:再造林および主伐・間伐の推進に資する商品(YSバイオチェーンオイルなど)
- ③ 助成率:約30%
- ④ 募集期間:下期募集は10月1日～10月30日まで(予定)